

G

元気な

S

しもすわっ子

M

学びの発表会

11月28日開催

保・小・中・特・高

第38回 下諏訪町健全育成研究集会

町校長会代表挨拶

下諏訪北小学校長 唐澤 裕子

皆さん、おはようございます。

コロナ禍の中、「新しい生活様式」での生活が続いています。マスク、手洗い、消毒、換気を徹底し、3密を避け、ソーシャルディスタンスを保ち生活しています。そんな中でも、子どもたちは、学び続けています。そして、友達、家族、地域の方々との温かな繋がりの中で、学びを深めていくことを痛感しています。人と人との繋がりは、私たちには欠かせない、大切なものです。

分散登校中、子どもたちの登下校を心配して見守ってくださった方々、田植えも分散で2日間行えるように支援・協力をしてくださった方々、学習、クラブ活動、寺子屋等で支援してくださっている方々等、地域の方々に支えられて、子どもたちは育っています。地域の方々と、アイデアを出し合い、工夫し、繋がり、子どもたちは学び続けています。

今日は、この下諏訪町で学んでいる子どもたちの元気で、そして輝いている姿を、みんなで確認したり、応援したりする日にしましょう。

町内の保育園・小学校・中学校・特別支援学校・高校が揃って、「学びの発表会」ができるのは、下諏訪町だけです。本当にありがたいことです。学ぶことは、生涯にわたって繋がります。今日は、保育園、小学校、中学校、養護学校、高校へと繋ぐ発表会です。各発表の持ち時間は8分間。この8分間に思いを込めて発表します。とても楽しみです。発表者の皆さん、皆さんの思いが伝わるように頑張ってください。

参加者の皆様、子どもたちの学びを地域に繋げることが、皆様の役割でもあります。子どもたちの姿に学びながら、地域に発信できる、そんな会にしたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



生涯学習

No.561

かおり高い
文化のまち

会場小景



下諏訪北小学校P14



さくら保育園P13



花田養護学校P14・15



下諏訪南小学校P15



下諏訪向陽高校P16・17



下諏訪中学校P17



下諏訪社中学校P16

発行 下諏訪町教育委員会
編集 生涯学習
編集委員会

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40
(下諏訪総合文化センター内)
☎ 0266-27-1111(内線718)
FAX 0266-28-0131
E-mail=syougai@town.
shimosuwa.lg.jp

オープニング

下諏訪中学校総合的な学習の時間「社の時間」の絆太鼓講座の生徒による「諏訪一番太鼓」により力強く始まりました



さくら保育園

～テーマ～

だいすきな絵本との出会いの中で絵本の世界を楽しめる子どもたちを願って

絵本との出会い ～4つの間～

絵本の読み聞かせの4つの間(空間、時間、仲間、手間)を考えていく

- ①空間・・・いつでも読める落ち着いた読める絵本コーナー
- ②時間・・・いつもの時間、好きなときに、毎日積み重ね朝の時間、午睡前、帰りの会、遊びの中で
- ③仲間・・・一緒に読んで楽しめる仲間
一冊を皆で読み、絵や言葉を共有しながら、イメージする
- ④手間・・・保育士の絵本の理解、絵本の選択、読み方年齢、発達、関心にあった絵本を選ぶ
読み方の確認(客観的に見てもらい、子どもたちに届いているのかを見直す)



個々の子どもの成長や課題をもとに、環境や支援を工夫します。



絵本の読み聞かせは、インターネットやスマホ、ゲームなどバーチャルな体験からは得られない社会性、コミュニケーション力、想像力を培うことができます。

家庭でも親子で絵本を楽しんでほしいです。

下諏訪北小学校 5 学年

◇地域の方と取り組んだ米作り◇

初めての米作りを、自分たちで調べたり、農業委員さんに教えていただいたりしながら進めていきました。



学校が休校になってしまったので、田起こしや代掻きは農業委員さんにやっていただきました。



分散登校だったので2日間で田植えを終えました。



ゴロという機械で草取りをしました。



害鳥対策として案山子かかしをつくりました

稲刈りチームが調べたことをもとに稲刈りをしました。細かいところを農業委員さんに手伝っていただきました。



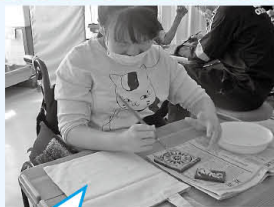
わらで作ったリース・ほうき



農業委員さんを招待して収穫祭を行いました。調べたことのまとめや劇、替え歌などを発表しました。わらを使って作ったしめ飾りやリース、ほうきをお礼の手紙とともに農業委員さんにプレゼントしました。

◇すてっぺカサイさんとの交流◇

すてっぺカサイさんにリモートで教わりながら、「コーパル(樹脂の化石)磨き」「スタンプでエコバックを作ろう」に取り組みました。



◇杜中学校との交流◇

毎年行っている交流も、今年は直接会うことができません。「少しでも関わりをもち、親交を深めていきたい」そんな願いからリモートで交流しました。



いろいろな形のスタンプでエコバックを作りました。炭治郎の羽織の柄ができたよ。



リモートで一緒に演奏したり、クイズを出しあったりしました。ポッチャで対戦もしました。



世界に一つだけの石ができました。文化祭に展示もしました。

まとめ

- ・ 地域資源の積極的な活用
 - ・ リモートでできることの模索
- すべては未来ある生徒のためにこれからも多くの人との関わりをもち笑顔を絶やさないようにつないでいきたい。

下諏訪南小学校 4年3組

◇下諏訪ごみ拾い隊◇

故郷である下諏訪町をきれいにしたり、動物の命を守ったりみんなで協力して地域や人の役に立ったりするために、「みずべの時間」に下諏訪町のごみ拾いを行っています。



諏訪湖や駅、公園や道路、川などに全部で21回ごみ拾いに出かけ、1万個以上のごみを拾ってきました。

下諏訪町に住む2万人が、一人一つごみを拾えば、2万個のごみが拾えます。ほんの小さなことでも、大きく未来が変わるはず。そう信じてデザイン会社のプラッツさんと協力して、ポスターを作りました。

人間が捨てたごみは、自然に帰らず、動物がエサと間違えて食べてしまったりごみのせいでけがをしたりします。人間の捨てたごみのせいで、自然が破壊されたり、動物が命を落としたりするそうです。また、一度海に出たごみが、自然に戻るまでには、とても長い時間がかかります。例えばペットボトルは400年、釣り糸は600年かかります。

花田養護学校 中学部

中学部20名が4つのグループに分かれて3つの交流を行ってきました。

3つの交流

- 1 御田町おかみさん会との交流
- 2 すてっぷカサイさんとの交流
- 3 社中学校との交流

交流のわらい

・生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育む。

◇御田町おかみさん会との交流◇

コロナ感染防止のため、今年はパソコンやタブレットの画面を通してリモートで交流しました。

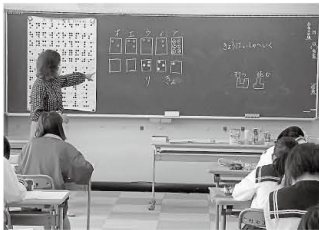


みーたまさん 三角八丁へ



グループごとに自己紹介をしました。みーたまさんの年齢や好きなものなどを聞いて大喜び♪

下諏訪中学校



社会福祉協会の方から点字を教わりました。



花田養護学校の生徒さんたちとリモートで交流をしました。「おもちゃのチャチャチャ」を演奏しました。



ダンス部、器楽部、吹奏楽部の発表は、大体育館と小体育館に分けて行いました。距離をとり、密を避けることを徹底しました。

ステージ発表



校内において大・小体育館で行っている発表を他の教室で見られるようにパブリックビューイングを実施しました。

◇福祉交流講座◇

総合的な学習の時間の5講座の中の一つ。多くの人との交流を通して、人との関わり方を学びます。今年は直接会っての交流ができませんでしたので、社会福祉協会の方にご協力をいただき、点字や認知症の方への関わり方、また、高齢者疑似体験をすることで高齢者の方との関わり方を学びました。そして、花田養護学校の生徒さんとはリモートで交流をしました。



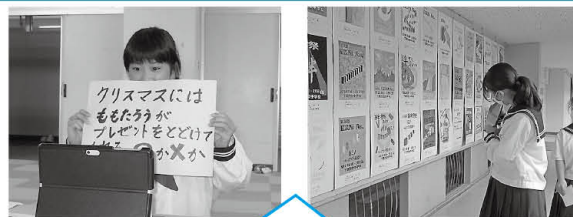
認知症の症状は、周りの環境を整えることでよくなる場合があります。「だいじょうぶだよ」とさりげなく手助けをすることが大事です。



車いすに乗ったり、体に重りをつけて歩いたり、高齢者の目線になってみました。



花田式ポッチャは、「お助けカード」が出るので、最後まで勝敗は分かりません。



特技を披露したり、○×クイズをしたりして交流しました。また、社中学校の校舎や生徒会の紹介もリモートで行いました。

慣れないリモートでの交流でしたが、お互いに楽しめるような企画を考えることができました。リモートでも花田養護学校の生徒さんとの距離が縮まりました。普通に会って話したり遊んだりできる日が来るまで、できることを一生懸命考えて行動したいです。

生徒会でInstagramを開設し、休校期間中に実施できなかった、部活動紹介や学校のルールについて投稿しました。「向陽FES」のカウントダウンも行いました。

向陽祭伝統の役員ソーランは、3年生の受験も考慮し役員有志で行いました。



有志による役員ソーラン

まとめ

- ・例年通りの向陽祭ができなかったのは残念ですが、「向陽FES2020」として新しい行事を1から創り上げることができてよい経験となりました。
- ・今年はなかなかできませんでしたが、下諏訪町との連携事業にも力を入れて、下諏訪町がより良い町になるように様々な面でご協力させていただきたいと思います。



下諏訪中学校

総合的な学習の時間に行っている「なぎがま講座」の中から、地域とつながりながら学んだ2つの講座の様子を発表しました。



◇透明骨格標本にチャレンジ講座◇

〈学習に寄せる願い〉

- ・諏訪湖の生物の現状を知り、今後の諏訪湖について考えるきっかけにしたい。
- ・魚の内臓をとる時にていねいにゆっくり行い、納得のいく透明骨格標本をつくりたい。



アルカリ性の水溶液でたんぱく質を分解し始めた小魚



えらの細かい部分まで染色され、上出来です！

長野県水産試験場諏訪支場の田代誠也先生から諏訪湖の環境保全活動や漁獲量、エビの見分け方、ヒシについてなど教えていただきました。

- ・根気強く作業を続けて、教科書に載っているような標本になるまでの過程をじっくり観察できました。
- ・諏訪湖の生物や環境など各自の目標が達成できました。他学年の仲間とコミュニケーションをとり、仲間との関係が深まりました。諏訪湖の生態系についてさらに考えていきたいと思います。

シモチューブ
◇SHIMOTUBE講座◇

- ・この講座は下諏訪町の魅力取材し、編集した動画をYOUTUBEに投稿し、日本中、世界中に下諏訪町の魅力を伝える講座です。
- ・発信することは、①下諏訪の温泉、②下諏訪の和菓子、③富士アイス、④すわのねの4つです。

今日は、富士アイスについての動画をご覧ください。



誰が喋っているか分かりやすいように字幕の色を変えたり、BGMをつけたり、TV風にしてみました。



みんなで楽しく調査をし、撮影や動画編集に取り組みました。とても貴重な体験や思い出ができました。

下諏訪向陽高校

入学式終了後の4月10日から再び休校に入り、対面式、いじめのない学校づくり宣言、生徒総会、一斉クラブミーティング等ほとんどの生徒会行事が中止になってしまいました。休校明けに、放送による生徒総会などを行い、代替行事について執行委員会などで話し合いました。

◇コロナ禍における向陽^{フェス}FES2020の取り組みについて◇

休校中に役員がリモートで話し合いを何度も重ね、向陽祭は中止と決定しました。秋に代替行事「向陽FES2020」として新しい行事を企画しました。

クラスマッチ



1日目のクラスマッチは、密を避けるために時差登校とし、ひと学年ずつ行いました。

感染症予防を徹底しながら楽しむことができました。

講 評

教育長 松崎 泉

皆さんこんにちは。本日は子どもたちの発表を主とした「(G)元気な、(S)しもすわっ子、(M)学びの発表会」に、多くの方にご参集いただき開催できましたことを心より嬉しく思います。この会は、「第38回保・小・中・特・高健全育成研究集会」ともなります。

ぴったりと息の合った力強い社中学校の「絆太鼓」で始まり、皆さんが地域とのかかわりの中で学んだことを中心に、分かりやすいプレゼンテーションやパフォーマンスなどを通して、楽しい発表をしていただきました。

(各園・学校への講評は略)

ご参集の皆様には、本日の発表の素晴らしさを大いに褒め認めていただき、子どもたち、生徒の皆さんの活動の価値について、それぞれのお立場で、ご理解いただきながら、さらに応援していただきたいと思えます。このことが真の意味の健全育成につながるのではないかと考えます。

本日の発表会が町の子どもたちの明日からの地域の皆様との更なる交流に反映されること、参加された皆さんお一人お一人のご健勝とご活躍、ご発展をお祈り申し上げまして、私からの講評とさせていただきます。本日は有意義なひとときをありがとうございました。



参会者の感想から

◇コロナ禍の中、発表ができたことに感謝します。子どもに大切なもの「心」のための活動がよかったです。地域の中で育っていることを感じました。自分で調べて考えることが勉強になったと思います。コロナ禍の中、できる学びがあることを感じました。

◇下諏訪町内の学校がそれぞれ学んできたことが発表できることがよいことだと思います。その発表を見て、子どもたちもまた、さらに感じるが多かったと思います。今年はコロナの影響も多々あった一年でしたが、その中で子どもたちが考え、学習を進める姿を感じました。

◇コロナ禍の中でも、地域の学校同士でリモート交流していることが分かり、参考になりました。いろいろなやり方を工夫して地域との関わりをもっと促進していければいいと思いました。また、それぞれの学校で実践されていることを知り、子どもたちのエネルギーを感じさせてもらいました。子どもたちの前向きな姿勢を大事にしたいと思えました。

◇児童生徒さんが自分も学び、学ぶことを楽しみ、その楽しみがいきいきとした活動をさらに広げ、深め、周囲に喜びを伝え、交流が深まり、良き環境を作り出しています。教科書では学べない学びを実感しました。共に楽しませてもらいました。ありがとうございました。



下諏訪町公民館・勤労青少年ホーム活動報告

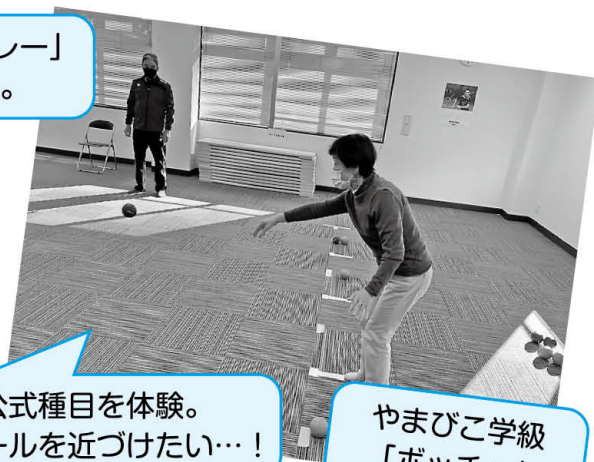


公民館・勤労青少年ホームでは令和2年度も各学級・講座を実施しました。その一部をご紹介します。

もみの木学級
「脳トレゆったり体操」



白熱の「うちわで風船バレー」
大いに盛り上がりました。



パラリンピック公式種目を体験。
目標の白球にボールを近づけたい…！

やまびこ学級
「ポッチャ」



公民館講座
はじめての切り絵講座



勤労青少年ホーム講座
手話講座

講座や公民館学級の様子 を展示します！

令和3年2月3日(水)～15日(月)
まで下諏訪総合文化センター展示
コーナーで、活動報告展示を行います。

ここで紹介しきれない公民館等の
講座や公民館学級の様子、また受
講生が作成した力作を展示します。

Go to 公民館！

新型コロナウイルス対策を万全にして皆さんのお越しをお待ちしております！
ぜひ一度、下諏訪町公民館へお出かけください。 問合せ：☎28-0002

11月6日

この町の歴史をたどるとき、宿場の時代を思
う方は多いだろう。

けれども下諏訪にはもう一つの顔がある。
私たちの町は工場の町だった。製糸業勃興の
時代は大勢の人々が流れこみ、町は今の形を取
りはじめた。明治以後の下諏訪は、急坂を駆け
上がる蒸気機関車のようなものである。汽罐きかんを一杯
に焚いて煙を噴き上げ、私たちの先人たちは波
乱の坂道を息せき切って走り抜けた。

北信の山村を出た私の祖父は、この町にやっ
てきて小さな中華そば店を開いた。屋号は出身
地の名を取った。煤煙のつづく製糸場と工女の
行き交う町。肩や車輪がぶつかるほどの活気だ
ったという。町の記録は往時の繁栄ぶりを伝え
るが、しかし私の父は生前、町の人々の厳しい
暮らしぶりを折に触れて話していた。製糸不況
と戦争、終戦の混乱。高度経済成長と精密の時
代。そして石油危機とバブル後の長期低迷。決
して華やかさばかりの時代ではなかった。

感染症が世界中を押し1年が過ぎた。収束の
見通しがつかないままこの町でも大勢の方々
いま、言いようのない苦境の中にいる。

かつてこの町の坂道を駆け上った先人たちは何を
思い、何を願ったのだろうか。

登り切ったその先に、何を見たのだろうか。

(水澤信雄)